



日時 2013年2月14日(木) 午後～2月15日(金) 午前

場所 金沢エクセルホテル東急(金沢市香林坊2-1-1)

主催 金沢大学、富山大学和漢医薬学総合研究所、金沢大学がん進展制御研究所

プログラム

1日目 2月14日(木)

13:20～13:30 開催の挨拶 金沢大学長 中村 信一

第一部

13:30～14:00 『シンポジウムの序：生理活性タンパク質・医薬・ベンチャー』
金沢大学 松本 邦夫

14:00～14:40 『オープンイノベーションによる画期的新薬の創生 アcademia創薬への期待』
大阪大学・塩野義製薬 坂田 恒昭

14:40～15:20 『日本発の医薬品創出へ向けて－Academia・PMDAの取り組み』
医薬品医療機器総合機構 矢守 隆夫

休憩 15:20～15:30(10分)

15:30～16:10 『創薬オープンイノベーションネットワークの構築』
東京大学 岡部 隆義

16:10～16:50 『伝統薬物をベースとしたAcademia創薬』
富山大学 東田 千尋

休憩 16:50～17:00(10分)

特別講演1

17:00～18:00 『スタチンの発見と創薬の心』
バイオファーム研究所所長 遠藤 章

2日目 2月15日(金)

第二部

9:10～9:50 『フリーツールを活用した低コスト化合物バーチャルスクリーニング技術』
九州工業大学 青木 俊介

9:50～10:30 『構造生物学と創薬』
大阪府立大学 木下 誉富

休憩 10:30(20分)

特別講演2

10:50～11:50 『予測の科学：IT創薬と福島事故から考えること』
東京大学 児玉 龍彦

11:50～12:00 閉会の挨拶 金沢大学 向田 直史

アカデミア創薬の心・技・体 第3回和漢研・がん研ジョイントセミナー

連絡先

金沢大学医薬保健系事務部薬学・がん研支援課研究協力係
TEL: 076-264-6702 FAX: 076-234-4527
E-Mail: y-kenkyo@adm.kanazawa-u.ac.jp

遠藤 章先生

心筋梗塞や脳梗塞などの動脈硬化を背景とする疾患は、先進諸国をはじめとして多くの国々で最も頻度の高い疾患であり、動脈硬化を促進する要因の一つが高コレステロール血症です。遠藤先生は血中コレステロールを低下させる医薬（スタチンとして総称）発見・開発されました。スタチンは世界でもっともたくさんの方が使用している医薬品で、ペニシリンと並ぶ奇跡の薬と呼ばれています。2008年にはラスカー医学賞を受賞されました。



現職： (株)バイオファーム研究所代表取締役所長
国立大学法人東京農工大学特別栄誉教授
東北大学大学院農学研究科特任教授
金沢大学大学院医学研究科客員教授
一橋大学客員教授、早稲田大学特命教授、など

略歴

- 1933年 秋田県生まれ
- 1957年 東北大学農学部卒業
- 1957年 三共株式会社入社
- 1966年 米国アルバート・アインシュタイン医科大学（1968年8月まで）
- 1974年 三共株式会社発酵研究所・研究第3室長
- 1979年 東京農工大学農学部農芸化学科・助教授
- 1986年 東京農工大学農学部農芸化学科・教授
- 1997年 (株)バイオファーム研究所長

受賞

- 1966年 農芸化学賞（日本農芸化学会）
- 1987年 ハインリヒ・ウィーランド賞(西ドイツ)
- 1988年 東レ科学技術賞（日本）
- 2000年 ウォーレン・アルパート賞（米国）
- 2006年 日本国際賞（日本）
- 2006年 シャウル・マスリー賞(米国)
- 2008年 ラスカー臨床医学研究賞（米国）
- 2009年 国際動脈硬化学会賞(Outstanding Achievement Award)
- 2011年 米国科学アカデミー外国人会員
- 2011年 文化功労者
- 2012年 瑞宝重光章、など

児玉 龍彦先生

児玉先生は1989年、動脈硬化の原因となる「スカベンジャー受容体」の純化・遺伝子クローニングの成功で一躍世界に知られました。生活習慣病や老化と血管医学で世界の最先端を走る研究者です。「特任教授制度」を作り、2002年に自ら第1号の特任教授となったことも話題となりました。

また、児玉先生は福島での原発事故以来、アイソトープを医療目的で使用する科学者として、毎週のように現地を訪問し、汚染調査や人体への影響を防ぐ活動をされています。2011年、英科学誌ネイチャーが発表した「科学に影響を与えた今年の10人」の一人に選ばれました。



現職： 東京大学先端科学技術研究センター システム生物医学分野教授
東京大学アイソトープ総合センター長
内閣府最先端研究支援中心研究者

略歴

- 1977年 東京大学医学部卒業 内科研修をへて
- 1984年 東京大学医学部附属病院助手 医学博士
- 1985年 マサチューセッツ工科大学研究員
- 1990年 東京大学医学部第三内科助手
- 1996年 東京大学先端科学技術研究センター 教授
- 2011年 東京大学アイソトープ総合センター長（兼任）

受賞

- 1997年 テクノフォーラム21ゴールドメダル
- 1998年 ベルツ賞35周年記念賞